

# 石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第12回)

「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第12回)」をWebで開催しました。本検討会は今回をもって最後となり、令和3年度から「滝川市水害タイムライン運営協議会」を設置して、タイムラインの運用主体を滝川市に移行します。運用主体の移行にあたり、情報伝達方法や運用マニュアル等について、関係者で確認を行いました。

- 開催日時 令和3年2月25日(木) 10:00 ~ 11:30
- 実施場所 Web開催(補助会場:滝川市役所等)
- 参加機関 滝川市等17機関

## 開会の様子

検討会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Webで開催し、松尾座長、前田滝川市長を始め、各機関の防災担当者、約50名が参加しました。

最初に札幌開発建設部の空閑次長より、流域治水を推進するうえでのタイムライン防災の重要性や、本検討会を通じた関係強化による人的被害ゼロを目指すことについて、挨拶がありました。

続いて、札幌管区気象台の國松気象防災部長より、地域住民の生命を守ることの重要性や、気象情報や避難情報のタイムラインへの活用について、挨拶がありました。

最後に、松尾座長が、北海道におけるタイムラインの取り組みの全国発信、北海道内におけるコミュニティ防災への展開、関係機関の連携継続について、重要性を述べました。



開会の挨拶  
(上)札幌開発建設部 空閑次長  
(下)札幌管区気象台  
國松気象防災部長

## タイムライン試行運用の振り返りと情報伝達方法について

事務局より、これまでの検討会の経緯と、第11回検討会の意見を踏まえた情報伝達方法の見直しについて、説明を行いました。

また、令和元年度のタイムライン運用で得られた意見を元に、修正した箇所について、説明を行いました。



補助会場の様子

## 運用マニュアルについて

同じく事務局より、運用マニュアルの作成目的、活用方法、内容の一部変更について、説明を行いました。

## 次年度からの運用にむけて

滝川市より、次年度(令和3年度)から、運用主体が滝川市へ移行することと運用の規則について説明し、運用主体移行後の連携強化について、関係者への協力依頼がありました。



Web会議の様子

## 閉会の様子

松尾座長からは、滝川市がタイムライン運用の主体を担うことに対して、他地域での課題を例示し、あわせて、滝川市が地域防災計画の中にタイムラインを記載した先進的事例であり、今後の取り組みに期待するとの講評がありました。

滝川市の前田市長からは、令和2年7月豪雨における被災地支援についての紹介があり、タイムラインを全国展開することの重要性を述べ、最後に、関係者への引き続きの協力依頼と、今後の運用への決意を述べて閉会となりました。



講評  
松尾座長



閉会の挨拶  
滝川市 前田市長